

子山ホーム

第89号

だより



2022(令和4)年度 生活支援基本計画

園長 吉田 正浩

令和4年度は、子山ホームの養育の基本としている「15歳からの養育」と「安全委員会方式」の2本の柱にスポットを当てていきたいと考えます。

また令和3年度に引続き「子山ホーム次世代の在り方」や「委員会活動」を活性化させたいと考えます。先ず「子山ホーム次世代の在り方」については子山ホーム次世代在り方委員会を中心に次世代の子山ホームを様々な角度から考えて行くために職員の見解はもちろんのこと、子山ホームで暮らす子ども達の視線から、その意見を積極的に聴取してもらいたいと思います。同時に「安全で安心して生活するために」を見直して子山ホーム版虐待防止マニュアルの完成を目指したいと思います。それらを保育士会・指導員会の中で年間を通じて議題の一つとして上げてもらい、最終的に形にして頂きたいと思えます。

また聞いて終わるのではなく、その中で出来る事を、描いた未来を子ども達中心に子山ホームの近未来の絵画展を行ってみる等、様々なアイデアや工夫を通して、出てきた意見や夢を叶えるためには現在(いま)、どうするかまで進めてもらいたいと思えます。

「各委員会」活動については、職員会の議題として4月・10月には各委員会での話し合いの時間を取ってもらいますが、その他にも令和3年度の活動を通して委員会自体を精査し活動していなかったものは無くしていったり、統合させたり、また忙しい委員会には人数を増やしたり、必要であれば新しい委員会を作ったりとして頂きます。

そして次世代の子山ホームを語る上では人材の確保・育成はかせません。そのために令和4年度は評価制度の導入をしました。また今後は職員のキャリア・アップのために人事異動を行っていきたく考えています。

評価制度においては、自分の目標を選び、明確にする事や仕事上での悩み事等々を直接の上司と面接をすることで自分の気づきに変えていく、面接する側も面接を通して自分自身に気づき自ら変わっていく事、それらが各々のスキルアップに繋がっていくものと信じています。

令和4年度 生活目標 「安全委員会方式」を正しく理解 して上手に活用しよう

安全委員会も今年で8年目に入りま
す。職員の現状で言うところには半分近い職
員が安全委員会方式の導入後の入職にな
ります。そして導入前に入職していた今
や中堅やベテランの域に到達している職
員の方々でも当時は新任職員だったり、
中堅・ベテラン勢でも中心を担っていた
た数名の職員以外は、理解をするのに難
しく感じていた職員も多かったと思
います。

そこで改めて安全委員会方式を正しく
理解して、上手に活用していきたいと思
います。事務局を中心に園内研修等を通
じて勉強していく、内部委員と他の職員
との温度差があるとするのなら、どうし
たら良いのか等々、また今後も子ども達
にとって必要という事であれば、これも
また次代の子山ホームにおいて、どの様
に運用していくべきなのかを模索してい
くべき時に来ていると感じています。確
かに「暴力はいけない」という事、や3
つの約束(1.叩くな口で言う 2.優
しく言う 3.相手が悪くても叩かない)
と言うワードは職員含めて子山ホームで
浸透していると感じます。しかし卒園や
家庭復帰等で子山ホームを去る子が居る
一方で、入所してくる子が続く施設の中
で、安全委員会方式が本当の意味で子山
ホームの文化になっていかなければ入所
の度に暴言暴力が吹き荒れてしまうで
しょう。そのために暴力はもとより暴言
についても、今一度職員が敏感になり、
また率先して正しい言葉、優しい言葉等、
愛語精神で共に暮らしていきましょう。
※和顔愛語(柔らかな顔色と優しい言葉。
やわらいだ笑顔をし、親愛の情のこもっ
たおだやかな言葉をかわすこと)

養育目標 「15歳からの養育」について

15歳からの養育とは15歳になったら取り組むと
いう事ではありませんね。幼児期小学生(低学年・
中学年・高学年)・中学生・高校生・それ以上とそ
の年齢に応じたケアの実践を心掛けて意識してい
きましょう。更に子山ホームを巣立った後に、上手く
社会に適応できるようにするため、如何に今を暮
らすべきか、そのケアとは如何すべきかに意識を
置いて養育をしていく、子ども達にも意識して
もらい取り組んでいく、そのケアの仕方を保育士会・
指導員会でも検討するケース会でも共有してい
く。そして何よりひよこ・小学生会・中学生会・高
校生会の中で子ども達からも声を聴き、いますべ
きことを、やらねばならぬことを理解し意識して
もらう、更に自分達で考え出せるように職員が導
いて欲しいと思います。また卒園生からも話を聴
きながら、どの様なケアが嬉しかったか、しても
らえれば良かったか等アフターケアを通して意見
を頂きながらインケア・リービングケアに生かせ
て行けたら良いと考えます。

また幼児期からの入所ではなく、その時々
の所による子ども達への育て直しについても、15歳
と一言一区切りではいけないケースの育て直し、
個々に応じたケアが必要になるでしょう。現在そ
れぞれ職員が持っているスキルを、そのノウハウ
をケース会等で共有して子山ホームとしての養育
を確立できると素晴らしいと思います。
そして「子どもの権利条約」4つの原則(1.生
きる権利 2.育つ権利 3.守られる権利 4.参
加する権利)についても学習する機会を持ち、更に
子ども達とも子どもの権利条約について話し合える
子山ホームでありたいと思います。
最後に
すぐに謝れる人は 勇気がある人。
すぐに許せる人は 強い人。
すぐに忘れられる人は 幸せな人。
弱い人は 仕返しをする人。強い人は 許す。賢い人は
忘れる。
ちよつと良い言葉でありませんか。大変な時代
ですが「チーム子山」として子どもも、大人も気
持ちよく暮らしていく努力をしていきましょう。

人は誰もが舞台に立っている 輝く 主役 になれ!!

3/13 送別会

卒業生代表メッセージ



本日はコロナ禍の中、送別会
を開催して下さった職員の皆
様 実行委員の皆さん 誠に
ありがとうございました。
私は小学校3年生の終わりに
入所し、人生の半分をこの子山
ホームで過ごしたことになりま
す。入所当時は数の概念がなく、
簡単な計算問題す
らできませんで
した。また、小学校に
通っていないかつた
ため、学力の遅れ
が顕著だったこと
を、今でも記憶し
ています。そんな
中、熊井先生を始め、
職員の方々が私に
付添い勉強の基本
を教えて下さった
ことを、大変よく
覚えてます。
そして、小学校・
中学校と勉強も

徐々に追いつき始め、色々な教科に興味を持て
るようになってきました。入所時におぼつか
かった学力が、今では何とか大学に進学でき
るまでサポートしていただいた皆様のご恩は
とても言葉では言い尽くすことが出来ません。
また決して忘れることはできません。私は進学後
も勉強や研究に励み、卒業後にはできれば福
祉関連の職に就き、今までのご恩に社会に還
元する形で報いたいと思っています。
私は、この9年間寂しさや孤独感を感じた
ことはほとんどありません。これは強がり
ではなく、この子山ホームに帰ると、職員方、
そしてホームのメンバーがいる事への安心感
からだと考えています。私はここが第二の家
であることを、いま改めて実感しています。
間もなく私は、長年お世話になった子山ホ
ームを旅立たなくてはなりません。新しい環境
での大きな期待と不安な気持ちでいっぱい
はありますが、ここで培った様々な思い出や
経験をしっかりと胸に刻み、今後の人生に活
かしていきたいと思えます。
最後に斎藤さん、たっけーへ。斎藤さん、
今の私があるのは紛れもなく斎藤さんが担当
保育士としてすまれホームを受け持っていた
からだと思えます。すまれに入らなくなっ
ても、進路や自立に向けてのアドバイスだ
り、たくさん気にかけて下さりありがとうございました。
ございました。会えなくなってしまうのは寂
しいですが旦那さんと遊びに来てください。



たっけー、怒涛の高校3年間
を温かく見守って下さりあり
がとうございました。お弁当だ
たり、塾の送り迎えに出向い
てもらったり、その他いろいろ
ありましたが沢山のサポートの
おかげで受験期を乗り越えるこ
とが出来ました。
月並みな言葉ではありますが、
約9年間ありがとうございました。
皆様のご健康と子山ホーム
の益々のご発展を心よりお祈
りいたします。
令和4年3月13日
齋藤 志乃

保育士さんからのメッセージ



貴斗へ

小さくって、おとなしくて、嫌なことがあると、すぐに指をしゃぶって、抱っこされて丸まっている貴斗をこの手紙を書きながら思い出しました。

そのころあじさいホームのメンバーは小学生高学年以上、19歳までの大きいお兄ちゃんお姉ちゃんが6人。それはそれは皆に大事にかわいがられて育ちました。唯一、年が近かった3つ上の「けっけ」とは遊ぶのはもちろんお互い喧嘩した時は遠慮なく言いたいことを言い合っていました。

過ぎてしまえばあつという間というけれど、貴斗と過ごした日々は、その通りあつという間の16年と少しの歲月でした。

事実としてのそれまでのお互いの生活の中では文字通り、泣いたり怒ったり笑ったり年表には書ききれないほどたくさんの事がありました。そうした生活の中で貴斗に教えられたことは、どうしたら貴斗が私の考えを受け入れてくれるようになるか、考えて工夫していくことでした。入所してきた、小さい頃のから人一倍こだわりの強かった貴斗は、自分が嫌だと思ったら決して受け入れず、頑なに拒み続ける子でした。

そのような生活の中で、成長していく貴斗に反比例して、年を取っていく私はどうしたら自分の考えを理解してくれるかそのための努力をしていくことを学びました。

そんな貴斗の頑なな面はいい意味でも発揮されて、一度やると決めたなら、どんな苦難でも一生懸命努力をすることでした。それは、一緒に生活している年下の吉田ホームの子ども達にとっても尊敬できる面でした。たくさん喧嘩もし、言い合いもいっぱいあったけれど、すべてを含めて、今までの一緒に暮らしてきた日々を通して、貴斗が大切に大好きな存在です。

人生100年と言われる今子山での生活は5分の1にも満たないけれど、今後の暮らしを思い出し、くすくすと笑える時があったらいいなと思っています。

たくさんさんの人の愛情を受けて育った貴斗。これからの人生は地に足をしっかり付けて頑張ってください。ずっと応援しています。そして、時々でいいのでかえってきてください。いつまで待っていますよ。

担当保育士 吉田百合子

志乃へ

ご卒園、ご卒業おめでとうございます。

約9年間の子山ホームでの生活はどうでしたか？

たっけいはあつという間だったなと、今、感じてます。小学生の頃は指導員さんを見つけてはおんぶや肩車をしてもらっていた人懐っこい子という印象でした。ソフトボールはがっつりやるタイプではないのかなと思っていたので、ミルキーズに入ると聞いた時はとても驚きました。でも、やると決めたこと最後までやり通すのは、このころから変わらない志乃のいいところだと思います。中学に入ると、一気にお姉さんになって、部活や学校のうつぶんをホームで毒を吐いているブラック志乃ちゃんが出てくるようになりましたね。

笑

それでも次の日になればニコニコして行ってきましたと登校していく志乃はすごいと思ってたし、そんな頑張り屋の志乃だから、森田前園長は志乃のいうことなら何でも「いいよ」と甘やかしてくれました。そして高校に入ると同時に担当が斎藤さんから大竹になり、ホームの雰囲気や居心地が変わったと思います。

正直、斎藤さんのままだったらなと思うことも多かったと思います。

それでも、わがまま坊ちゃんが多いすみれの中에서도変わらなくてくれる志乃の存在が担当になって余裕のなかつたたっけいにとって、どれほどありがたかったことか。そのときは言葉に出来なかつたけどとても感謝しています。

スマホを買ってからは部屋にいる時間が多くなって、より話す時間が少なくなりましたから、もつとたくさん話しておけばよかったなと今になって後悔しています。ただ、話す時間は多くないけれど、志乃の努力はいつも分かっていました。その努力が実を結び、大学合格を勝ち取りました。

そんな志乃も4月から大学生ですね。一人暮らしを始めたか、すぐ近くに大人がいなくなったり、今よりもっと志乃自身の力が試されると思います。きつと頑張り屋さん志乃の事だから一人で悩んでしまう事もあるかもしれません。誰かを頼るという力も自分の力だという事を覚えておいてください。

困った時はいつでも連絡してください。きつとみんなが志乃の力になってくれると思います。困っていないくてもたまに顔を見せに来てください。美味しいご飯を用意して待っています。

最後に素敵な男性がいれば連れてきてください面接します。改めて卒園おめでとう。お元気で。

担当保育士 大竹 貴博

美由紀へ

卒園おめでとう。

中学3年生の時に子山に来て、約3年間どうだったかな。

大嶋さん、越川さん、私、高山さんと担当がコロコロ変わって、落ち着かなかつたよね。それで美由紀らしく生活できたかな。

美由紀とはじめましては、りんどうホームに交代が入った時でした。りんどうに入ると「はじめまして」と自己紹介してくれたよね。とても明るくてお話しするのが大好き！って伝わってきました。外で会うたびに「ヤッホー」って声を掛けてくれたよね。

外から見たら明るくて人懐っこい子だけど、色々悩みを抱え込んで一人でいっぱいになることを担当になって気が付いた。人の事なのに自分の問題かのように考え込んでふさぎこんで人一倍人を気遣うことが出来る子だったね。見た目が明るいからあまり美由紀を知らない人からみたら「つらい」と思ったら弱音を吐いていいんだからね。

最年長としてりんどうを引っ張ってくれてたくさん笑わせてくれたね。美由紀語録がとんで姫菜梨や優心に突っ込まれて、そんな姿に愛斗が笑っていて、姫奈にバカにされて言い合っていて、わつちとはリンゴの取り合いやどっちが食器を洗うか言い争っていたね。その反面玲音や絆和を注意してくれて自分の想いを一生懸命伝えてくれたよね。頼りすぎましたこととあつた。未熟な私でごめんね。

私の誕生日の時お祝いしてくれてありがとう。私が休みに入る前にお手紙ありがとう。出産を頑張りうっておもえた。心優しい美由紀を担当出来て良かった。

人間関係でたくさん悩んで高校を辞めたいって言うってきたけど、自分の力で乗り越えて無事に高校を卒業出来て良かった。涙ぐんで退場する姿を見て辞めないで良かった、いい思い出になってよかったって改めて思ったよ。これからもし色んな壁におつかると思う。辛かったらいつでも話を聞かからね。たくさんさんが美由紀を見守っているよ。

がんばれ。ありがとう。いつてらっしやい。

担当保育士 羽賀 有紀

舞桜ちゃん

卒業、卒園、そして大学進学おめでとうございます。

いまから3年前に子山にやってきた舞桜ちゃん。ずうらんのはちゃめちゃさにびつくりして、周りに気をつかってく気分が上ることがたくさんありました。しばらくすると、他の子と比べて、その子と同じように見て、私の事はきらいなの？の見てみて攻撃。何かあれば「私はいらない子だから」と外に飛び出していたよね。自転車でも市川児相まで行ってしまった時には、心配して怒っていた気持ちもおぶつ飛んで笑ってしまったことを思い出します。「いらぬ子だから」と外に飛び出したときに、言っていた言葉覚えてますか？

「誰かとおなたは同じではないから同じように見ることはできない」舞桜ちゃんは舞桜ちゃんであつた、たつた一人のあなたなんだから、いらぬはずはない」と言ってきたことを。

時として怒り、時としてなだめ、なかなか心が通わない日々を過ごしたこともあつたね。「やまはまはこわい」「やまはまは厳しい」とそんな陰ながらの言葉を何度聞いたでしょうか？そんな日々も今ではいい思い出です。この何カ月でずいぶん強くなったよね。「やまはまが何で怒っているのか分からぬ」と泣きながらでも向かってくる姿を見ると、本当に成長したんだなとしみじみ思います。

多分、舞桜ちゃんが思っている以上に私はあなたを気にかけていました。心配してきました。そして伝えてきました。あなたはひとりではありません。何かあった時にきつと助けてくれる人がいます。いつも応援してくれる人がいます。厳しい事ばかり言ってるさうさうさうママがここにいます。

どうかそれだけは忘れないうで、一人で悩まないで、苦しめないでほしいとおもっています。よく頑張ったね。ママと、ずうらんと、子山と一緒に生活してくれてありがとう。

統括主任 兼担当保育士 山田 洋子

子山ホームには、 里親支援専門相談員が います

里親家庭で生活するために、子山ホームから5歳で巣立っていったA君が、中学生になりました。春休み中、里親さんから写真付きの嬉しいお便りが届きました。友達と一緒に写った笑顔のA君は、身長が伸び、顔の輪郭もすっかり大人っぽくなっていました。「もう中学生なんだ。早いな。」「背が伸びたな。」「笑顔は、あの頃のままだな。」「こんなに大きくなってしまふと何処かで会っても分からないかもな。」等々、写真を見た職員も笑顔になり、皆でA君の成長を喜びました。「一筋縄ではないかない6年間でしたが、振り返ればあつという間の6年間でした。そして本当に本当に親子共々、皆様に支えられた6年間だと思いません。」との里親さんのお便りと穏やかな優しい表情のA君の写真を見て、里親ご家族の愛情をいっぱい受けて成長しているのだと感じました。

子山ホームでは、里親家庭で生活するお子さんと里親さんを応援しています。

里親制度に関するご質問・ご相談がある方は里親支援専門相談員 柴田まで。

TEL 〇四七〇一六二一三三五
子山ホーム

第32回 関東小学生選抜ソフトボール大会

4/23・24 茨城県ひたちなか市

優勝!! 茂原SBC

千葉県代表として出場する茂原SBCに子山ホームから男子3名女子1名が参加しました。結果は、千葉県勢初の優勝という素晴らしい結果となりました。子山ホームの選手はすべての試合に出場し優勝に貢献しました。ソフトボール人口が減少しており、チーム数が減っている中、子山ホームに声をかけて頂き、地域から必要として頂けることに感謝したいです。みんな、お疲れ様！おめでとう！

保育士 大竹 貴博



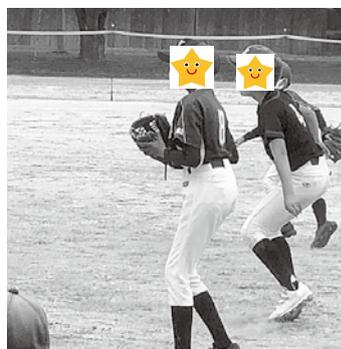
決勝戦あまりかつやくできなかったけどみんながかつやくしたおかげでゆう勝できてよかったと思います。

1試合目と準決勝にかんしては、かつやくできたと思えます。こんごのソフトも頑張ります。次の練習の時は、よろしく願います。

小6 Y・H

関東に行けてうれしかったです。最後の試合でゆうしようできたから、いい思い出やたいけんになった。できればもういつかやりたい。りよかんのよるごはんがおいしかった。

小6 A・S



かんとう大会でゆうしようしました。ぼくはしゅびからうまくできたからよかったです。バツティングはバントが2回もきめられました。次はつてるようにします。おうえんもしました。おうえんは、こえがかれるぐらいいました。ゆうしようできてうれしかったです。つぎも、かんとうぜんこく大会を行つてゆうしようしたいと思いました。りよかんでおふるとごはんをみんなでたべたり、はいったり、

小4 M・K

僕は、関東大会で、1位になれて嬉しかったです。一番の思い出は、夜にマグロを食べられて、嬉しかったです。また、関東大会で1位になりたいです。

小4 S・K

3位入賞!! ミルクイエングルズ

今回初めてソフトボールの関東大会の引率に行きました。子ども達が勝利を目指し奮闘する姿はとてもかっこよく、こちらは固唾を飲んで見守りました。コロナ禍の中関東大会が開催されたことに喜ばしく思うのと、子ども達が遠征宿泊という事で子山以外の子ども達と仲良く過ごしていた様子が印象的でした。

保育士 片山 未来

かんとう大会をやつてはじめてやりました。1かいいにたかかったときにかつて1日つかれたあとおとまりのぼしよがあつてみんなでごはんをたべたりしてよるは、子山だけでこつそりYくんMとHとたつてMちゃんAちゃんとかつたでうみにいきました。なみがくるときさけんだりしてたのしかった。Yくんは、みんなのことをみていました。つぎの日は、ダイヤとたたかつてまけちやいました。けどたたかつたのしかったです。

小2 H・K

私は、1試合目では、勝つて、うれしかったけど、2試合目で負けてしまつて悔しかったです。山形屋では、みんなで楽しく遊んだり、話したりできて良かったです。早起きが大変でした。次、ダイヤモンドガールズと試合をやる時は勝ちたいです。

小6 R・N

1試合目に、ライトにヒットをうてたのはよかったとおもいます。しゅびでは、声を出してピッチャーをもちあげられたのでしゅびのほうでもよかったとおもいます。

小4 M・T

1試合目からはキャッチャーとして出ました。しゅびではほとんどびつちやーがさんしんしてくれたのですぐにおわりました。1試合目はかてよかったです。2試合目は相手がつよかったのでいいけいけんになりました。コロナだったけどおとまりできてうれしかったです。

小6 M・T



小学生から中学生・中学生から高校生 次のステージへ進む僕らのチャレンジ

中3小6行事とは

それぞれの節目を迎えた子どもたちが、今の自分たちに何ができるのか、どこまでやれるのか、大人と共に知り、またそれを今後の生活において自信として力に変えることのできる取り組みの一つです。

小6行事

今年は天候不良もあり、1日しか歩けなかった小6行事。約40kmで例年よりも短い距離でしたが、余裕の子、ギリギリの子、様々な様子を見れてとても面白い一日でした。大人の気持ちとしては、もう少し歩けたかな。なんて見栄を張りながら、来年もどんなテーマで子ども達とこの行事をやるのか楽しみにしています。

児童指導員 佐藤 和好

私は、約40キロを歩いて、本当に車は必要だと知らされました。なぜなら歩くのがこんなに大変だと知りまして。でも、みんなと歩けたりはんがたべれたりして、とても楽しかったです。
現中1 S・K

小6行事は、とても乗り物のありがたみを知りました。予定の70キロには程とおかつたけどとても疲れました。そして、休憩の途中の飲み物や、ファミチキなどが体にしみましました。
現中1 T・S

小6行事では、初めてでとてもつまらなかったけど、色々な方達のサポートと応援で頑張って乗り越えることが出来たのでよかったです。
現中1 M・T

小6行事はめっちゃ短かったけど、少し疲れました。けど、とってもたのしかったです。そして、車のありがたみを知りました。もっとながいきよりをあるきたかったです、けど、本当に楽しかったです。
現中1 H・T

安房鴨川駅
↓
40km
↓
子山ホーム
完歩!!

中3行事

今年度も3月14日から15日に館山駅から子山ホームまで100キロ歩く「中3行事」を行いました。毎年同じ100キロでもルート、メンバーで様相は全く異なり、非常に過酷な中3行事となりました。子ども達はゴールの達成感を最優先し、途中車両による移動を挟みましたが、ゴールの子山ホームまで自分たちの足で帰ってきました。リタイアする子、大人のリタイア等ハプニングもあり、全員揃ってのゴールにはなりませんでしたが、それでも同じ困難とともに経験することで関係の深まりを私自身感じました。お金を入っていた封筒を回収すると「楽しかったです、企画してくれてありがとうございます」と書いてあったのがとても嬉しかったです。
児童指導員 若林 越磨

3月14、15日に館山駅から子山ホームまで歩く中3行事を行いました。なかなか大変でほとんどの人が体も心もボロボロになり、リタイアした子供や大人も出てしまいました。帰りはホームに朝早く付き、昼まで眠り、夜は普通に生活しました。顔の日焼けや足の痛みは強くなかなか取れませんでした、いい経験になったと思います。
中3行事代表 現高1 S・S



僕は小6行事に行きました。朝ごはんをすしを食べました。歩き始めはよゆうだとおもっていたけど、とちゅうで足が超いたくなりました。トンネルで大きい車とすれちがってすごくこわかったです。でも楽しかったです。
現中1 H・H



進学意気込み

進学した子どもに意気込みを聞きました。

小学生

- 行くの緊張してる！お友だちが出来るの楽しみ！小1 Y・W
- 1年生になれてうれしい！国語と算数頑張る！先生とお勉強することが楽しみです！小1 H・K
- 給食とお勉強頑張る！小1 M・T

中学生

- 中学生になったら部活と勉強を頑張ってモテたいそしてかの女をたくさん作ってじゅうじつした中学校生活をたのしみたいです。あと友達もたくさん作って友達とだけでどこか千葉じゃないとこに行ったり、スマホを持ったらLINEをたくさんしたいです。中1 R・M
- 私は、子山ホームの生活で頑張りたいことが2つあります。一つ目は、友達を作ることです。子山ホームに来て一か月ちょっとしかたっていないので頑張りたいです。二つ目は、学校生活です。初めてあった人がたくさんいたり、難しい勉強が増えたからです。これからも、生活に馴染めるように、頑張りたいです。中1 A・Y

高校生

- 私は、千葉県立茂原高等学校に進学します。高校では、将来の夢をかなえるために、準備していきたいと思えます。部活動で心身を鍛え、大学進学を目指して、勉強も頑張っていきたいと思えます。高1 S・K
- 僕は高校生活を安定して送っていききたいです。平和に友達と話せればと思います。そして将来はどこかに就職して平穩に暮らしていきたいです。まだ将来にしたいことは決まっていませんが、とりあえずまあ頑張っていこうと思えます。高1 S・S

先月、僕は高校生になりました。高校生活の目標の一つ決めました。それは、「学校に行く」です。学校に行くのは学生なのであたりまえですが、中学の時その当たり前ができていない自分が居ました。そのことをふまえ今回、当たり前ですが、学校に行くという目標にしました。中学生と高校生は、自分の中では全然違うものだと思うので、中学生の時のような生活をせず頑張りたいと思えます。
高1 M・H

ちゅうがっこうでのいきごみは、がっこうぎょうじをがんばるのと、こくごときじゅつと、すうがくとりかど、おんがくとしゃかいと、びじゅつと、たいいくががんばります。これからもあたたかいめでみまもってください。
中1 H・T

中学生に向けて部活や勉強を頑張りたいです。自分のペースに合わせて友達を作っていきたいと思えます。そして、授業中には手を挙げて発表を頑張りたいです。ノートをキレイにわかりやすく書きたいです。それで、友達には優しく怒らないで接せられるように頑張りたいです。
中1 M・T

いつだって!! 新しく!! 進め子山ホーム!!

コロナのワクチン接種がすすみ、少しずつ以前のように行えるようになってきた行事。

前よりも良く、楽しくできるよう、大人も子どももチャレンジしています!!

4/4~4/5

令和4年度 新高校生会



令和4年4月4~5日で、鴨川にある内浦山県民の森にて、新高校生会を実施しました。

毎年恒例の高校生合宿。新しく高校生となった新一年生を含めた高校生たちと寝食を共にします。ここで話し合われるテーマは大きく二つ。「自立に向けて」と「自分たちの生活を自分たちで作る」ことです。

「自立に向けて」とは卒業後の生活を子どもたちがイメージできるようにプログラムを提示し、みんなで取り組みます。また、子山ホームの支援をしてもらっているソニー生命の方々にも来ていただき、お金や仕事に関する話も子どもたちにしてもらいます。

「自分たちの生活を自分たちで作る」とは、子山ホームの暮らしの中で変えていきたいこと、大事にしたいことなどを子どもたちが考えて、自分たちで施設での暮らしを組み立てていくことを目的としています。

その他、今年から改定された「18歳成人」についての知識を深めるために千葉市の弁護士の方にも来ていただき、話してもらいました。

1泊2日を通じて意見が盛んに交わされ、子ども同士、子どもと大人の絆も深めることが出来た、素敵な合宿でした。



3/27



進級会

進級会の
新しい試み!!

例年は、各ホームごとに職員と子どもで一品食事を作り、みんなで楽しんでいましたが、今年の進級会はSDGsの取り組みの一つとしてごみを減らすために『全員で自分のお弁当箱を使い理想のお弁当を作る!』をテーマにして開催しました。子ども達が中心となり、素敵なお弁当ができて、楽しく新しい進級会にすることができました!

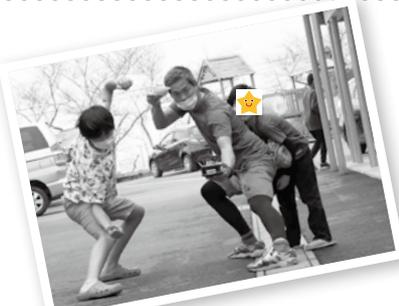
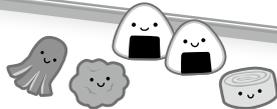
今年度も残念ながら感染拡大防止のため平素よりお世話になってる皆様にはご参加して頂くことが出来ませんが、ホームのみんなで進級のお祝いをしました。

児童指導員 佐藤 和好

進級会

今年のお弁当の内容♡

- 【 】の中は作ったホーム名
- 【しらぎく、りんどう】おにぎり
- 【すずらん】たこさんウインナー
- 【すみれ】竜田揚げ
- 【あじさい】唐揚げ
- 【ひまわり】焼きそば
- 【つばき】ポテトサラダ
- 【よしだ】とん汁
- 【かんの】卵焼き
- 牛乳寒天フルーツゼリー(調理さん)
- 時田さん(コーヒー屋さん)



児童指導員 和田 直樹

5/28

手に汗握る 開園記念行事!!

昨年はコロナのため断念した開園記念行事!子山ホーム大運動会を行いました!!久しぶりの開園記念行事、例年は5月3日に行っていました。今回は5月21日に行いました。天候で予定より一週間ずらしての開催でしたが、ドッチボールに綱引き、スポーツ鬼ごっこにリレー!大人も子どもも参加した開園記念行事は盛り上がりました!!途中からは地域のお友だちも一緒にあってさらに大盛り上がり!!2年越しの開園記念行事は大成功!



ようこそ!!
子山ホームへ
 今年度3名の新任保育士さんと
 1名の新任指導員さんが新たに
 仲間として加わりました。

S・A 保育士

私は、子山ホームの一員として、早くこの環境に慣れたり、仕事を一人で考えて、積極的に動けるようにしたいです。
 理由は、早く環境に慣れることで気持ちに余裕ができて、自分のやっていること以外に目を向けられるようになったり子どもと落ち着いて関わることができるようではないかと思いました。日々何が起るかわからない現場では、気持ちに余裕を持ち、冷静になって物事を考える必要があると思います。そのためにも、子山ホームは、どのような所かや、子ども達はどんな様子なのかを体感で身につけたほうが良いと思います。積極的に仕事を行うことで、早く仕事内容を覚えることができ、試用期間に一人でやる機会があっても不安にならず出来ると思えました。

A・S 保育士



こんにちは。佐藤天音です。昭和学院短期大学を卒業しました。私は秋田県出身で、ソフトテニスと保育の道を両立したくて千葉県に来ました。ソフトテニス歴は今年で11年目になり、運動神経と体力には自信があります。得意な事はスポーツ全般、料理、秋田弁です。秋田弁を聞きたい、知りたい方はどうぞ話しかけてください。趣味は釣りとかキャンプです。好奇心旺盛で何事にもチャレンジしたい性格なので遊びでもスポーツでも何でも誘ってくれたら嬉しいですよ。でも心霊や肝試し等は信じるので肝試し、怖い話等はやめてください。私は子山ホームで子ども達と一緒に成長していきたいと思っています。暖かく安心できる場所はもちろん、子ども達に信頼される職員になれるように努力していきたいと思えます。基本的にポジティブに捉えることが得意なので悩んだり、上手にいかないことなどがあつたらどんどん相談にのるので気軽に声をかけてください。よろしくお願ひします。

M・Y 保育士

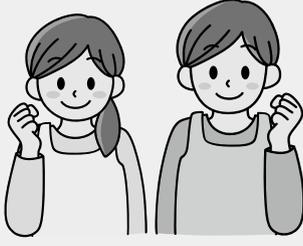


初めまして。今年度から子山ホームで保育士として働くことになりました。山田麻代です。私は4年間浦安市にあるホテルでレストランの受付として働いていました。以前から保育には興味があり、働きながら子どもと接するうちに本格的にやってみたい気持ちが強くなり、紹介もあつた。まずこの一年は皆の名前と顔を覚え、たくさん話したいと思っています。また行事にも積極的に参加し、一緒に過ごす時間を多くしたいと思えます。分からないことだらけですが、これからよろしくお願ひします！

R・O 指導員



今年度から児童指導員として入職することになりました。よろしくお願ひします。大学では心理学を学びながら二年間同じ子どもの療育を行う学内実習を行ったり、ボランティアで図書館を盛り上げる活動を行ったりしていました。出身地は千葉県館山市で今は海に入ることは苦手ですが、小さい頃は、おばあちゃんの家で竹の子や夏みかん、フキなどを山に取りに行ったりしていました。入職するにあたって多くの不安もありますが、これまでの経験を活かして、子山ホームでの暮らしをより豊かなものにできるように努力します。まずはホームのルールをしっかりと覚えたいと思います。これからよろしくお願ひします。



寄附・招待

皆様からの温かいご支援に心より感謝申し上げます

子山ホームバザーのお知らせ

地域の皆さんにご好評頂いております子山ホームバザー、ここ2年間感染症拡大防止のため開催が叶いませんでしたが、今秋に開催する予定で準備して参ります。日時は10月22日(土) 11時からとなります。会場は、日頃よりご支援いただいている皆さまやお世話になっている皆様に、子ども達の生活の場をより身近に感じていただく為、子山ホームでの開催となります。本バザーは、地域の方々との交流を深めていくことはもとより、ホームを巣立っていく子どもたちへの自立支援に充てることを目的としております。是非皆様お誘いあわせの上、ご来場くださることを心よりお待ちしております。

なお、引き続きご家庭で眠っている日用品・雑貨・おもちゃ等、ご寄付いただけるものがありましたら幸いに存じます。ご寄付は常時承っておりますので、よろしくお願ひ致します。

その際、衣料品に関しては、新品もしくは未使用のもののみお受けいたします。子山ホームまでご連絡頂ければ、こちらから受け取りに伺いますので、ご協力の程、宜しくお願ひ致します。

お問い合わせ
 子山ホーム ☎0470(62)2325

麻生剛様からのご紹介で吉野三次様より絵画と書の寄付。お二人で来園していただきました。



アニーさん焼肉招待



キッズニア



●チャリティーコーナー

敬称略、順不同 (令和4年2月17日～令和4年6月9日)

個人			団体	
藍野悦子	吉原	吉田宏夫	子山ホーム後援会	株式会社ハズプランニング
山田恵美子	原 秀子	木島晃一	大美屋	株式会社コスモ技研
渡辺弓子	秋元	前崎 航	東海地区	株式会社ユナイテッド
佐藤真由美	吉田	中根恵子	株式会社リバーライト	カーブス会員の皆様
長谷川 敦	左草 哲	高島	360° LIBCACAO	茂原 S B C
増山貴子	道家尚己	麻生 剛	OneStep	ぼっぷこーん
石原達朗	椎名真弓	吉原	天才保育ランド	株式会社チュチュアンナ
吉田かず子	神定洋子	松永	にこにこサンズ	さんむ野菜ネットワーク
原 真	松ヶ谷隆	伊藤	日本出版株式会社	鈴木輪業
さかいみちよ	伊藤綱吉		(株) E L A N	巨人の星
岩瀬	橋口輝子		株式会社リバーライト	(株) Daska & Desiree
長谷川政二	水島一成		仲佐屋薬局	ACHA プロジェクト
金城	下田清子		土屋鍾文堂	未来しこう株式会社
石川浩一	吉野三次		みのりの会	穴川
鈴木久美子	金城		せきとく	withOne
穴原富希子	大野容子		ソニー生命	株式会社 野口
岡本隆太郎	坂東君子		大多喜ロータリークラブ	マンゾクテクニカル
吉田京子	市原浩一		岡本株式会社	



ボランティアの方々 (敬称略)

※令和4年2月17日から令和4年6月22日までの間で活動していただいた方々です。

NPO法人ブリッジフォースマイル
NPO法人KIDS

子どもとの関わり
平手牧師
読み聞かせ：厚生保護女性会

床屋：ヘアークラブヤノ
ダンスインストラクター 金子様
茂原SBC

◆◆◆ 令和4年度後援会名簿 ◆◆◆

(令和4年2月24日～令和4年6月12日)

三好 憲子	浅香 いさく	マームジャパン(株)	吉野新聞上総東店
梶永 光洋	吉野 正行	正栄産業株式会社	仲佐屋薬局
井爪 よし子	佐藤 大輔	ミルクイエージェルス	



※上記の名簿は令和4年2月24日～令和4年6月12日までに納入された方で、それ以降、納入された方は記載されていません。
※高額のご寄附の場合は、同封の振り込み用紙では取り扱えなくなります。その際は、お手数ですが子山ホームまで連絡を頂きたいと思ひます。
※お詫び 前号88号で仲佐屋薬局様の名前が抜けておりました。申し訳ございません。ここに改めてお詫びし、記載させていただきます。

▽ 編集後記 ▽

今回子山ホームだよりを作成いたしました小野寺と申します、よろしくお願ひ申し上げます。
初めて子山ホームだより作成に携わり、改めて子山ホームは多くの皆様からの支援を頂いている施設だと感じました。私は地元が大多喜町で先日子山ホームにお越しくださった方が私の実家の近くの顔なじみの方で、昔から子山ホームに関わりのある方という事を知りました。久しぶりにお会いできて直接お話をできたり、子どもの為にと絵や書道作品のご寄付も頂き、繋がりや縁を感じとても嬉しく思いました。私も子どもの為に何かできることはないかと考え行動できるように日々を過ごしていきたいです。
PS 次号は夏休みの子どものたちの様子をふんだんに載せていく予定です、最後まで読んで頂き有難うございます、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

児童指導員 小野寺 直輝

子山ホームだより 第89号
発行日：令和4年7月4日
社会福祉法人
チルドレンス・パラダイス
児童養護施設 子山ホーム
千葉県いすみ市深堀685番地
TEL 0470-62-2325
FAX 0470-62-8828
Eメール info@h-koyama.or.jp
http://www.h-koyama.or.jp/

※今後「子山ホームだより」の送付は遠慮したいという方がいらっしゃいましたら、遠慮なく子山ホームまでご連絡ください。